

第3学年「外国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 表情やジェスチャーからも読み取り、外国語でおおまかな会話の内容を理解することができてきた。スモールトークを見せ続けた成果である。

課題 ▼ コミュニケーションを図ろうとする態度に個人差がある。

▼ 基本的な英語表現や単語習得の定着が欠けている。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 外国語を用いて、積極的にコミュニケーションを図る力
- ◇ 基本的な英語表現や単語習得が定着し、外国語で伝え合うことができる

具体的な改善策

- ゲームやアクティビティなどを中心とした授業を組み立て、主体的に関わる活動を増やす
- デジタル教科書を用いて毎授業の導入にチャンツを行い、基本表現や単語を繰り返して発音することで、楽しく自然に声を出せるようにし、身に付けられるようにする。
- 毎時間の授業の流れを確立することで、積み重ねを大切にする。

達成目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。